

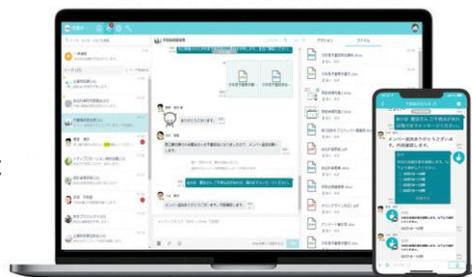
ビジネスチャットツール「LoGoチャット」について

1 LoGoチャットとは

PCとスマートフォンで使える自治体向けビジネスチャットアプリ。電話、メール、紙、対面などの旧来の方法をビジネスチャットに置き換えることで、生産性向上、情報共有と意思決定の迅速化、ペーパーレス、テレワークの実現につながる。庁内での情報共有と意思決定の迅速化を進めるため、すべての部署と分野に有効であると考えられる。また、自治体間ではもちろんのこと、インターネット環境でも導入できるため、参加する民間事業者やベンダーとも連絡が可能。

2 特徴

- ・ 電話やメールよりも効率的
- ・ いつでもどこでも会議が可能
- ・ 情報共有が簡単でスムーズ



3 本市での導入状況

本市では、プロジェクトチームからの提案に基づき、今年7月よりトライアルを実施し、プロジェクトチームのメンバーやその関係者等、現在100ライセンスで運用している。

※ トライアル実施期間は今年度末まで。来年度以降は予算が必要になるため未定。

4 活用例とその効果

活用例	効果
プロジェクトチームにかかる連絡調整やアイデア出し	電話やメールの回数が減り、チャットによって情報共有のスピードと質が向上した。また、会議の事前・事後の情報交換もチャットで行うなど、意思決定の迅速化も図られた。また、対面での会議が困難な場合、チャット会議にて記録を残しながら意思決定できる。
業務にかかる報告・連絡・相談	所属内での情報共有の質が格段に向上した。また、従来はタイミングを見計らって行っていた多忙な上司への相談などもチャットで送信しておけば時間が出来たときに確認してもらえるため、負担軽減・業務の効率化につながる。
先進事例の共有	他自治体の先進事例を学べるとともに、職員同士の気軽なやりとりやアイデア出し、意見交換ができる。
他部署への問い合わせ	電話取り次ぎ等の手間がなくなる。また、文字で記録として残り、確実性が高まる。
聴覚障害がある職員のためのコミュニケーションツール	コロナ禍でマスクを常時着用している状況であり、声が聞き取りにくかったり唇を読むことが難しかったりするため、チャットを活用することで円滑なコミュニケーションにつながる。また、所属外の職員ともコミュニケーションがとりやすくなる。
自治体間の報告・連絡・相談	同じ悩みを抱える近隣自治体や遠隔の自治体との気軽な相談や連絡がチャットを通じて可能となる。
テレワークでの活用	在宅勤務時においても、職場と変わらないレベル（スピードと質）で情報のやりとりが可能となる。
関係者間での情報共有、合意形成	複数の部署をまたいだ情報交換や意思確認を場所やタイミングを選ばずいつでも始めることができる。また、部局を横断して実施する事業において、関係者への伝達漏れが減る。
職員の健幸づくりの取組への活用	健幸都市づくり推進チームからの提案により、職員間で歩数対決を実施し、健幸意識の醸成に繋げることができた。

5 職員の気軽な発言が事務改善につながった事例

- ・ 公開羅針盤施設予約へ会議室の写真を掲載
- ・ 市民課で配布するおくやみ手続きの一覧の作成

試してみたい方には設定させていただきますので、経営戦略課 行政経営係（内線2244～5）までお気軽にご連絡ください。